

＜文化芸術分野＞

■ ■ 1 現状と課題 ■ ■

- 本市にはナセBA（市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリー）をはじめ、伝国の杜（置賜文化ホール・米沢市上杉博物館）や市民文化会館、座の文化伝承館等の文化施設があり、本市のみならず置賜地域の文化芸術の拠点として活用されています。
- 本市には米沢市芸術文化協会を中心とした市民の自主的な文化芸術活動が浸透しており、今後とも情報の共有化や連携を図り、市民の文化芸術活動を促進する必要があります。
- また、市民がより豊かな人生を送るための活力源となるよう、様々な文化芸術活動の場を提供していくとともに、文化芸術の発信や交流活動を推進し、文化芸術活動の活性化を図る必要があります。
- 本市には、上杉家ゆかりの国宝等、貴重な文化財や国指定の史跡をはじめ、獅子踊りや草木塔といった独自の伝統文化が数多く存在しています。これらの歴史・文化的資源を次代に確実に引き継ぐとともに、市民・事業者と連携し活用を図ることで、本市の魅力向上や賑わいを創出することが求められています。
- また、地域に伝わる伝統文化の継承等を通じ、幼少期から郷土への誇りや愛着を養うことも必要です。

■ ■ 2 基本施策 ■ ■

**多様な文化芸術と歴史・文化が息づき、
豊かな心を育む地域づくり**

市民の豊かな心を育む文化芸術の振興を図るとともに、本市の重要な文化財を適正に保存・継承し、有効に活用することで市民の郷土愛を育み、交流人口の拡大にも繋げ、本市の活性化を推進します。

(1) 文化芸術に親しむ機会の充実

- 置賜文化ホールや市民文化会館、市民ギャラリー等における自主事業を充実し、市民が優れた文化芸術に触れる機会を設けるとともに、文化芸術に取り組む人材の育成を図るため、市民の文化活動への支援等により自主的な文化芸術活動を促進します。
- 本市ゆかりの芸術家、作家の作品展や公演等の機会を設け、文化芸術を通じた郷土愛を育みます。
- 芸術創作活動拠点を整備し、当該拠点を核とした創作活動の輪を広げることで、地域の芸術活動の活性化を図り、芸術を通じた交流を生み出します。
- 総合的な文化芸術活動推進の指針となる計画等について検討します。

(2) 地域の伝統文化や文化財の保存・継承と活用

- 文化財の保存・継承活動を支援するとともに、学校や地域と連携し、子どもや地区住民が地域の伝統芸能や史跡等を学習する機会を設け、地域の伝統文化の理解と文化財を身近に感じられる環境を整備します。
- 本市所有の貴重な文化財を適切に管理するとともに、指定文化財等の適正な保存と活用を推進します。
- 史跡や遺跡をはじめとする様々な歴史的資産の保存と活用を図るとともに、国指定史跡等の保存と整備を推進します。
- 博物館や市内史跡等の文化財を観光資源として活用し、地域の活性化を促進します。
- 本市文化財の保存と活用に関する総合的な指針となる文化財保存活用地域計画を策定します。